

北林透馬 （透馬） 小説家。明治二十七年十一月十日神奈川県鎌倉生まれ。昭和四年十二月十一日（二九四一六）。本名清水金作。別名清水孝祐。上智大學中退。

著書『（はなりの家）留地の丘』（昭和十二年二月十五日ヤトリエ社）『新銃大衆小説全集』、『ピエタ建設戦—大東亞戦争陸軍報道班員手記』（合

著・文化奉公會編、昭和十八年一月、千五百大日本雄辯會講談社）、

『從軍隨想—大東亞戦争陸軍報道班員手記』（合著・同、昭和十八年六月

二十八日大日本雄辯會講談社）、（賦奇派）『中篇集 コレスビヤンの娼婦』（昭和

二十五年六月、千五百あまこころ社）、（男性）『入門—こころも隨筆—』二十一年の

武者修行』（合著、昭和二十一年十一月、千五百あまこころ社）、『ロ

マンズグレー』（合著・平野威馬雄編、昭和二十一年二月、千五百弘道

閣—レット文庫』、『白米遊俠伝』（昭和二十一年五月、千五百

学風書院）、『坂柿のヨロシタ』（昭和二十一年八月、千五百学風書院

『スリラー風上記』等。

